



第1部

「大腸がんについて」

消化器外科・小児外科 真崎 純一 講師

第2部

「肝がんに対する当院での治療」

消化器外科・小児外科 刑部 弘哲 助教

大腸がんについて

消化器外科・小児外科
講師 真崎 純一 医師

大腸がんは、全ての癌腫の中でがん罹患率が第一位、がん死亡率が第二位のがんであり、年々罹患率、死亡数が増えています。健康診断など、早期発見がもちろん大事になりますが、当科は見つかった大腸がんの治療に全力を挙げております。近年では大腸がん治療は多様化しており、当科でも手術治療のみならず、内視鏡治療・抗がん剤治療から緩和治療まで、またそれらを合わせた集学的治療を通して、ご来院頂いてからは患者さんに向き合った一貫した治療を行っております。

また当科が得意としている手術治療では、体によさしい腹腔鏡治療や最近ではロボット支援手術が大腸がんにおいては8割程度を占めております。

本講座では、大腸がんについて、事例をご紹介しますながらわかりやすく解説いたします。

肝がんに関する当院での治療

消化器外科・小児外科
助教 刑部 弘哲 医師

肝臓は体内最大臓器で肝細胞に発生するがんを肝細胞がんと呼びます。今回は肝細胞がんについてお話します。肝細胞がんは肝炎ウイルスや非アルコール性脂肪肝炎などによるもともと肝臓に慢性的な炎症により引き起こされます。肝がんの治療は多岐にわたり、手術やラジオ波焼灼療法、薬物治療、血管内治療（肝動脈塞栓術）などがあります。

肝臓の機能や腫瘍の位置、腫瘍サイズによりそれぞれの患者さんにより治療方法が異なります。当院では内科、外科、放射線科とチーム一丸となり患者さんに最適な治療を行います。

手術に関し従来の開腹手術ではなく腹腔鏡手術、ロボット手術を積極的に取り入れ低侵襲な治療を行っております。また、近年分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬などの出現により更に治療方法の選択肢が増加しております。

本講座で最新の肝癌治療についてお話します。

日時 2024年4月15日(月) 開場 16:30 開演 17:00 ~ 閉演 18:30(予定)

会場 東京医科大学病院 本館9階 臨床講堂 (最寄駅:丸ノ内線 西新宿駅)

申込 事前の申込は不要。当日は会場に直接お越しください。

※尚、座席数に限りがございます(360席)。満席の場合は入場をお断りする場合がございますので予めご了承ください。